

線虫の「種類」「密度」を知って、早く適切な防除を。

線虫密度検定

サービス

キレイに見える畑にも、
見えない敵へ線虫は
潜んでいる。

収量増加や品質向上、収穫期間の延長のためにも、
線虫密度検定サービスを使って
適切な線虫防除に取り組みましょう。

線虫は体が小さく(通常0.5mm以下)、認識されにくい害虫ですが、土の中に潜んで作物に多大な被害を及ぼします。



かんしょの被害
(ネコブセンチュウ)



だいこんの被害
(ネグサレセンチュウ)



ネコブセンチュウ



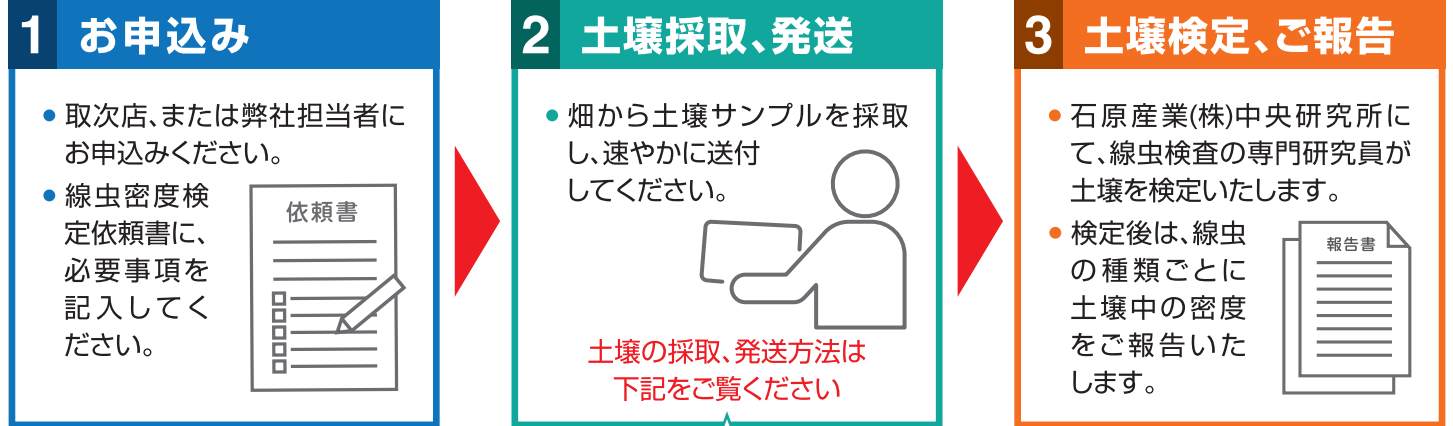
ネグサレセンチュウ

線虫の「種類」「密度」を知って、早く適切な防除を。

線虫密度検定サービス

お申込みはカンタン! 土壌サンプルを送って、待つだけ。

■ お申込みから結果のご報告までの流れ



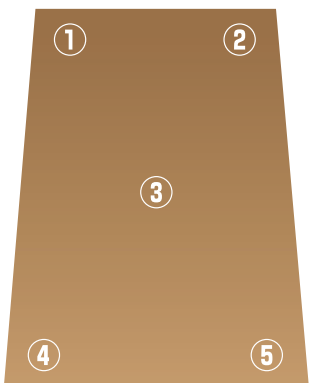
土壌採取、発送方法

■ 採取時期

- 前作収穫後、耕起整地後、または作付け1ヶ月以上前が適切です。
- 雨天等、土壌水分が多いときの採取はさけてください。

■ 採取場所

- 約10アールを1区画とし、圃場の4つ角と中心部の計5ヶ所から土壌を採取してください。(右図参照)
- 表面の土は取り除き、深さ約15~20cmの土壌を採取してください。



■ 採取量

- 1ヶ所あたり100g程度(シストは200g程度)、1区画合計500g程度の土壌を採取し、まとめて1つのビニール袋に入れてください。
- ビニール袋には必ず採取場所がわかるような任意の番号や名称をつけてください。



*採取量の目安は湯呑茶碗5杯程度

【注意】線虫が死滅すると検出できなくなります。

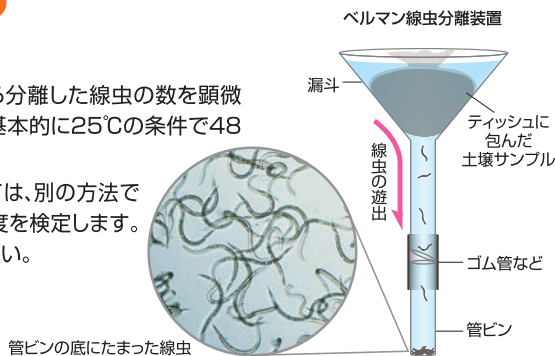
- 採取した土壌は、乾燥しないようすぐに袋の口を閉じてください。
- 保管、配送中はビニール袋内が高温にならないよう注意してください。
- 採取した土壌はできるだけ早く送付してください。

土壌検定方法

■ 計測方法

ベルマン法により、土壌から分離した線虫の数を顕微鏡で計測します。本検定は基本的に25℃の条件で48時間かけ線虫を分離します。

- *シストセンチュウについては、別の方法で蔵卵雌成虫(シスト)の密度を検定します。お申込み時にご指定ください。



■ 計測対象

ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、シストセンチュウの3種類を対象とします。

■ 検定結果のご連絡

検定結果は、通常2~3週間程度でお知らせいたします。防除計画のご参考にしてください。

- ※シスト健全卵の検定もご希望の場合は、通常1ヶ月程度のお時間を要します。
- ※受託状況により検定結果のご連絡が通常より遅れる場合がございます。

- <ご注意>
- 線虫は、同一圃場内でも密度の分布に差が出ることがありますので、検定結果は一つの目安としてください。
 - 農薬の使用にあたっては、必ず登録内容を遵守してください。
 - 線虫の卵は、本方法では検出できません。前作までに被害が見られる場合には、検定結果がゼロの場合でも防除は必要です。